

がいらいしょくぶつ ぼうじょ きょうりよく ねが  
外来植物の防除にご協力をお願いします。

この植物を植えたり、  
掘げたりしないで  
ください。



## アメリカハマグルマは、「緊急対策外来種」です!!

アメリカハマグルマは、キク科の多年性植物で、年間を通じて草体が繁殖します。1970年代に緑化用として沖縄諸島各地に導入されました。しかし、あまりにも繁殖力が強く在来植物の生育に大きな影響を与えているため、緊急対策外来種(※)に選定されています。

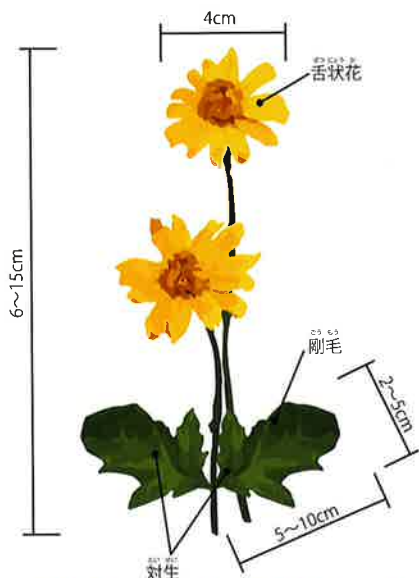
※ 緊急対策外来種

生態系被害の甚大性や生物多様性の保全上重要な地域への影響から、特に緊急性が高く、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある種。

# アメリカハマグルマはこんな植物



和名: アメリカハマグルマ、ミツバハマグルマ  
 学名: *Sphagneticola trilobata* (Wedelia trilobata)  
 自然分布: 南アメリカ北部



## 全体

キク科の多年性草本の植物で、年間を通じて草体繁殖します。頭状花序は在来種のハマグルマ(ネコノシタ)に似て、鮮橙色で6~15cmの花茎に単生。径4cmほど、舌状花は長さ1.3cm、幅5mmほど。

## 葉

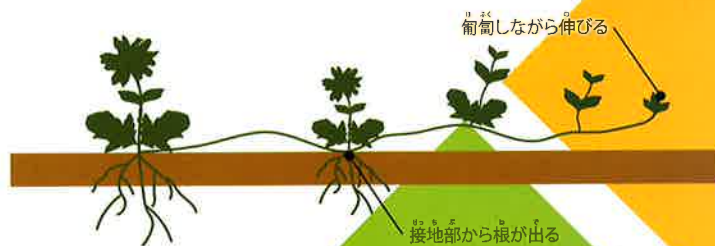
葉の長さは5~10cm、幅2~5cm、1か所から2枚の葉が出る対生です。葉の形は被針形で表面には剛毛があり、ザラザラとしています。

## 根

株元からつる状に匍匐して接地面から根を出して伸び、長さ3~5cmになります。

## 繁殖力

匍匐して伸びることから、他の植物の上にも繁殖します。網目のように次から次へと違う節から分岐することによって、その下に生育する植物に光が当たらなくなり、元々あった植物は枯れてしまいます。



# どうすればいいの?

## 課題

黄色のきれいな花をつけるため、除草作業後も観賞用の「お花」と認識されやすく、意図的に刈り残されています。そのため、雑草等が刈り取られた整った環境で、さらに繁殖を続けることになってしまいます。



街路樹の脇に意図的に刈り残されているアメリカハマグルマ ▶

## 除去

防除に当たっては、根茎を残すと容易に再生してしまうため、可能な限り丁寧な抜き取り作業を行ってください。刈り取りの場合は、根茎が残ってしまい、容易に再生するため、完全に駆除するためには抜き取りと組み合わせる必要があります。再生が見られなくなるまで抜き取り作業を継続的に続ける必要があります。

抜き取ったすぐの根には再生能力があるので、そのまま移動させてはいけません。飛散防止のため、ビニール袋に入れる等して運搬し、ゴミ焼却するか、抜き取ったその場で数日間天日にさらして乾燥させるなど、枯死させたいうで運んでください。また、除草剤の使用に当たっては、他の植物へ影響を及ぼさないよう、場所や方法を考える必要があります。